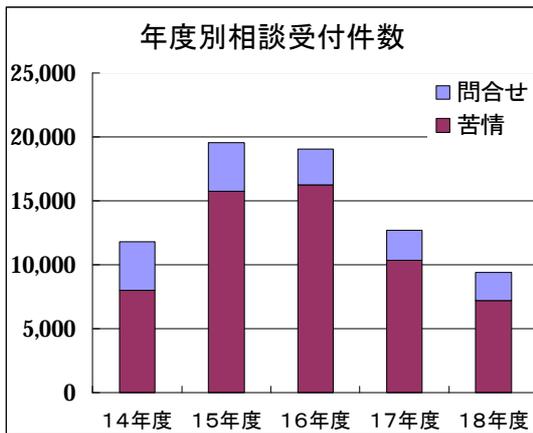


# 平成 18 年度 消費生活相談状況（要約）

## 1. 相談件数

平成 18 年度に、山口県消費生活センターが受け付けた相談件数は、9,375 件で、前年度(12,709 件)に比べ 3,334 件減少し、前年度の 74%となりました。

相談のうち、苦情相談は 7,198 件（相談件数全体の 77%）で、前年度より 3,139 件減少しています。



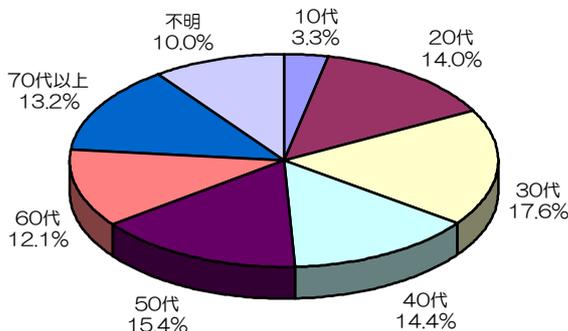
相談者は、50 歳代が最も多く、次いで 40 歳代、30 歳代、60 歳代の順となっています。前年度同期と比べ、各年代で相談件数が減少しています。

一方、相談の当事者は、30 歳代が最も多く、次いで 50 歳代、40 歳代、20 歳代の順となっており、相談者と同様に前年度同期と比べ、各年代で相談件数が減少しています。

また、契約当事者のうち 60 歳以上の割合は 25%となっています。

なお、男女別では、相談者は、女性が男性を大幅に上回っており、契約当事者は、女性が男性をわずかに上回っています。

年代別相談件数（当事者）



販売方法別では、特殊販売（訪問販売、通信販売、連鎖販売取引、電話勧誘販売等）に関する相談が 5,008 件（53%）、店舗での購入に関する相談が 2,693 件（29%）となっています。特殊販売は、苦情相談の割合が高く、相談件数の 94%を占めています。

## 2. 相談内容

内容別に見ると、「契約・解約」に関するものが 6,952 件で最も多く、次いで「販売方法」に関するものが 4,439 件、「価格・料金」に関するものが 1,470 件の順となっています。

また、相談の多い商品・サービスは、次のとおりです。（上位 10 位）

順位	商品・サービス	件数	主な商品
1	融資サービス	2,364	カード・サラ金
2	通信サービス	1,509	電話情報提供サービス
3	書籍・印刷物	369	新聞
4	レンタル・賃貸	332	賃貸アパート・借家
5	工事・建築・加工	229	新築・増改築工事
6	健康食品	197	健康食品
7	自動車	169	自動車
8	電報・電話	156	電話関連サービス
9	学習教材	145	資格取得用教材
10	生命保険	136	会社生命保険

※前年度に比べ、融資サービス、通信サービスともに大幅に減少しています。

## 3. 架空請求

架空請求に関する相談は 827 件で、前年度(2,897 件)に比べ、2,070 件の大幅な減少となりました。

